



日口交流の古都・鎌倉ハイキングに参加して

八城 明弓

私は、大学内のサークルで所属する国際交流愛好会を通じ今回鎌倉ハイキングに参加をする機会を得た。貴協会主催のイベントに参加するのは二回目で前はロシア料理講座に参加し、それまで全く関わりがなかったロシア人に接し、生活様式、考え方や文化等について学ぶことが出来、国際交流の大切さを改めて痛感した。今回は参加者の皆さん方との交流を主目的に参加を考え、私の地元で神奈川県県の観光名所である鎌倉のハイキングと言う事で、又格別の気持ちで参加することができた。

11月8日(土)ハイキング当日、私は二年前サークル活動で鎌倉ハイキングを行った際に使った運動靴と、なるべく動きやすい服装で、ハイキングが何の問題もなく楽しく出来るのか、やや不安な気持ちで家を出た。鎌倉駅に着くとすでに大半の方が到着しており、皆さん思いおもいの格好で来ていることに少し安心をしていた。しかし、登山ベテランの山中氏・中村氏は山登りに備え万全な準備をなされている事を知り、又万一の場合のホイッスルを与えていただいたのには驚きを禁じえず、鎌倉ハイキングだからと安易に考えたことを深く反省させられた。

鎌倉駅で感じたのは、鎌倉は地元民と観光者が入り混じってお互い一体となって共存している街なのだという事である。この事は、私が国内国外で訪れた観光地では見られない光景のような気がする。しかし今回ハイキングで鎌倉を訪れてみて、近くでこんなに素晴らしい観光地があることの喜びを改めて感じる事ができた。

ハイキングは明王院から始まり、山道を登って鎌倉宮までの



道のりを約3時間かけて歩いた。山道は雑木の根が地面を覆い尽くしており凸凹と歩きづらい危険な箇所がかなりあった。しかし、この雑木は山が崩れないように根を張って人々を守っているということを知り、自然保護の大切さを感じた。木の話をしている際、法政大学のクセニアさんとそのご主人の早稲田大学のイワンさんから日本はなぜ杉や針葉樹林が多いのかという質問が出て日本の地形に応じた植林が行われ、森林の保全が守られてきた歴史についても学ぶことができた。

ハイキング出発時に間に合わず、1時間ほどの遅れでも参加するとの筑波大学のミソチコさんが2合目くらいのところで合流されたのには驚いた。ロシア留学経験のある上智大学池田さんいわくロシア人は運動神経が良く少々の遅れくらいはすぐに取り戻すスピードを持っているので、驚くには値しないと。ハイキング中は皆さん、ゆったりとした足取りで色々な会話を楽しみながら美しい自然を眺め、武家政治の鎌倉幕府150年に亘る輝かしい歴史の勉強や先輩達の仕事に関する話や山の自然について多くのことを学ぶ良い機会になった。休憩時には、各自持参の菓子類をお互い交換し、私達はロシアの方の嗜好品について、ロシアの方は日本人の嗜好品についてお互いに理解する事が出来たのも良かった。

今回の参加で、ここには書ききれない多くの思い出があり、貴協会のイベントに参加することができとても満足している。そして、改めて新しい出会いの大切さについて思い知る貴重な機会になった。最後に素晴らしい機会を与えてくださった貴協会の皆様方に感謝の意を表させていただきます。

(拓殖大学国際学部国際学科4年)